

ドリームスイーツプロジェクト

取組に至る背景・事業の目的

- 宮田中学校の生徒により発案された地元産豆腐を使用した「とうふのレアチーズケーキ」に改良を加え、商品化し、販売することで以前に商品化に取り組んだ紫輝彩井とは違うターゲットに対し誘客が望め、名物井と併せて宮田村のPRに貢献する。また、子供たちのアイデアを取り入れながら商品開発を行うことで地域での学びや育ちの環境づくりを行い、商品販売を通じて子供たちの夢を実現させ、感動を共有するとともに、宮田村の活性化を進めることを目的とする。

事業内容

- 「とうふのレアチーズケーキ」を、スイーツ販売のターゲットである子供や女性のアイデアを取り入れながら改良を加え、商品化する。
 - ・ 村内保育園児、小学生、中学生などを対象に試食及びアンケートの実施
 - ・ 味、トッピング、パッケージ、ネーミングの選考及び決定
 - ・ 広告、宣伝、販売



【中学校での試食の様子】

事業効果

- 地元住民や子供たちを巻き込んで商品開発することにより愛着のある特産品ができ、定着化のきっかけとなった。
- 購入のため村を訪れる人が増え、地域活性化が図られた。
- 商品販売や活動内容をブログで公開したこと等により、宮田村を広くPRすることができた。販売イベントでは、販売開始20分で70本が完売し、地域の関心も高まった。
- 名物品の製作に子供たちが携わる事により、地域活性化・発展に関心を持つ若者の育成の一助となった。
- アンケートの集計、商品開発を発案者の学生と行うことで、学生が仕事体験を行うことができた。
- 地元産の農作物を使った特産品（宮田豆腐）を利用したことで地産地消が図られた。



【完成したスイーツ「天使のつむじ」】

工夫・苦労した点、課題、今後の取組など

- 小中学校等にて試食を行い商品のアイデアを募集、また、ネーミングの募集をするなど何度か子供たちには食べてもらい、宮田村の新名物について一緒に考える機会を設けた。このことで一定の定着化は果たせたと考えるが、本当の名物になるためにはしばらく時間がかかると思われる。村内の洋菓子店と協力して、さらに村民から愛される名物スイーツにする取り組みが必要と考える。

【選定のポイント】

事業実施主体のみならず村内の小・中学生のアイデアなどを柔軟に取り入れ、地域資源を活用したオリジナリティある特産品を開発し商品化させた。今後はさらなるPR等により販路の拡大を図り、名実ともに地域の名産物となることが期待される。

団体名	宮田村商工会青年部 ドリームスイーツプロジェクトチーム (宮田村)	事業タイプ	ソフト事業
連絡先	電話 0265-85-2213	事業費	703,000円
		支援金額	703,000円